



木崎中通信

新潟市立木崎中学校

令和5年度 後期学校評価

生徒会スローガン **Happiness**～ともに創る最高の思い出～

今年度の教育目標「自ら学び 自ら考え 生き方を求める生徒」の達成に向け、「今日も楽しかった」とすべての生徒が言える学校づくり、「学習がわかって楽しい!」「仲間との活動が楽しい!」「貢献することができて嬉しい!」と実感できる教育活動に取り組んでまいりました。

9月から1月まで、目標はどのくらい達成されたのか、成果と課題は何か、生徒・保護者・地域の方々・教職員はどのように感じているか等をまとめ、「後期学校評価」としました。良いところ、頑張っていることは取組を継続して、さらに伸ばす。足りないところ、できていないことは改善を図り、根気強く取り組ませながら、改善を図り成長を促します。

保護者の皆様より多くのご意見などをいただきました。今後とも木崎中学校の教育に対し、ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

後期学校生活アンケートの結果より

「学校は楽しい」と答えた生徒は、95%でした。市の平均は90%ですので、高い数値となっています。また、「やっていることを先生や友達から認められてうれしいと感じることがよくあります。」「地域や学校で先生以外の大人から褒められたり認められたりしてうれしいと感じることがよくあります。」の数値が新潟市平均よりも高くなっています。保護者・地域の皆様のご協力のおかげであると感謝しております。

学習面では、「自分の考えを進んで伝えていきます。」「ペアやグループで話し合う活動は好きです。」などの項目は市平均よりも高く、意欲的に学習に向かっていると考えています。しかしながら、「宿題以外にも自主的に家で勉強しています。」の項目で市平均を下回るなど、今後の課題にするべき点もあります。「ふだん、携帯電話などの通信機器で通話やメールなどをどのくらい行っていますか。」の設問では、長時間に及ぶ生徒も市平均より多くいました。メディアコントロールも今後の課題となっています。



目指す資質・能力を育成する授業の質的な向上

学校評価アンケートの結果（肯定的評価の割合）

（生徒） 普段の学習では、友達同士で話し合う活動を行っている。

昨年度後期 97% → 本年度前期 95% → 本年度後期 96%

（生徒） 宿題をきちんとやっています。

昨年度後期 93% → 本年度前期 92% → 本年度後期 92%

（生徒） 宿題以外にも自主的に家で勉強しています。

昨年度後期 89% → 本年度前期 74% → 本年度後期 77%

（保護者） 木崎中学校では、教科の学習指導がしっかりと行われている。

昨年度後期 93% → 本年度前期 89% → 本年度後期 93%

（保護者） 木崎中学校では、家庭学習の習慣が身に付くように、宿題の点検がしっかりと行われている。

昨年度後期 83% → 本年度前期 75% → 本年度後期 80%

（職員） 学習課題の達成に向けて、ファシリテーション、ペア学習、グループワーク
i P a d等を取り入れている。

昨年度後期 91% → 本年度前期 100% → 本年度後期 93%

成果	<p>友達と話し合う活動（生徒による評価）や学習課題の達成に向けての学習形態の工夫（職員による評価）の項目で、高い値になっている。生徒が主体的に教え合い、学び合うことができていたと考えられます。</p> <p>基礎学力の定着を図るために、基礎プリントに取り組み、既習事項の確認などに取り組んでいます。</p>
課題	<p>92%の生徒が「宿題をきちんとやっています。」と回答しているのに対して、「宿題以外にも自主的に家で勉強しています。」と回答している生徒が77%でした。宿題だけでなく、その他にもどのように学習をしていくのかを各教科で生徒に話をしていく必要があります。</p>
来年度のの方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基礎学力の定着を図るために各教科と学年部で連携して取り組んでいきます。 ・ステップアップタイムと朝読書の時間を見直し、国語・数学・英語の基礎基本となる学習を取り入れ、月末に基礎基本の確認テストを行います。 ・主体的・協働的な学びの実現に向けた授業改善を行うために、研修に取り組んでいきます。 ・定期テスト前の学び合い学習や自習学習を設定することで、基礎学力の定着や学習への支援に取り組んでいきます。



自立を促す生徒指導の推進

学校評価アンケートの結果（肯定的評価の割合）

（生徒）学校生活は楽しい。

昨年度後期 97% → 本年度前期 94% → 本年度後期 95%

（生徒）友達のよいところを見つけたり、友達が落ち込んでいるとき、励ましたりしています。

昨年度後期 95% → 本年度前期 94% → 本年度後期 93%

（生徒）先生方は自分の努力を認め、励ましよくないことをしたときには注意してくれる。また、悩みや相談にも親身になって応じてくれます。

昨年度後期 95% → 本年度前期 95% → 本年度後期 98%

（保護者）お子さんは、好ましい交友関係があり、学校へ楽しく登校している。

昨年度後期 97% → 本年度前期 99% → 本年度後期 96%

（保護者）木崎中学校の生徒は、社会や学校のルールをきちんと守っている。

昨年度後期 98% → 本年度前期 96% → 本年度後期 95%

（職員）生活アンケートややりとり帳などを活用し、教育相談などの機会を捉え、生徒の悩みや相談に応じることができた。

昨年度後期 93% → 本年度前期 100% → 本年度後期 100%

<p>成果</p>	<p>学級担任を中心に学年部や教科担任など多くの職員が生徒一人一人と関わり、個々の成長、さらには集団としての成長をサポートしています。体育祭や合唱祭などの学校行事では生徒会や実行委員、リーダーを中心に準備、練習を進めたことで、当日の運営も含め、素晴らしいものとなりました。リーダーだけでなく、フォロワーとなる生徒も全力で取り組み、リーダーをサポートし、行事を創り上げました。これらの経験が「学校生活が楽しい」「良好な人間関係」につながっていると考えられます。</p>
<p>課題</p>	<p>「平日にメディアを1日にどのくらい利用しているか」の設問では、1時間以上の生徒は、電子ゲームが46%、YouTubeなどが68%、テレビ、ビデオ、DVDが33%と高い傾向が見られます。TV等よりもネットを使用した過ごし方が多い傾向です。YouTubeなどは際限なく見れるため、メディアコントロールをする力が必要になります。</p>
<p>来年度の方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や生徒会活動を通して、自己有用感や共感的人間関係を高めていく機会と捉え、主体的な活動を支援し、達成感を味わえる活動を取り入れます。 ・ SNS やネットゲームとの関わり方について、指導を行っていきます。 ・ 毎月、学校生活アンケートを行い、個々に必要な支援を全職員で共有していきます。 ・ 生活チャレンジ週間のもち方を改善し、少しずつメディアコントロールができるよう意識づけを行っていきます。



多様な学びを保障する特別支援教育の推進

学校評価アンケートの結果（肯定的評価の割合）

（保護者）学校は、自分の子にあった支援をしている。

昨年度後期 92% → 本年度前期 85% → 本年度後期 91%

（保護者）教師は一人一人を大切にし、生徒や保護者に対して親身になって対応したり相談したりしている。

昨年度後期 96% → 本年度前期 89% → 本年度後期 92%

（職員）個別の支援計画を短期目標を持ちながら、計画・見直しすることができた。

昨年度後期 89% → 本年度前期 80% → 本年度後期 89%

成果 ・学校生活アンケートの結果から、「学校は自分の子にあった支援をしている。」と回答する保護者が91%、「教師は一人一人を大切にし、生徒や保護者に対して親身になって対応したりしている。」と回答する保護者は89%となり、楽しく学校生活を送っている子どもの姿に保護者が満足している結果となりました。

・「個別の教育支援計画を短期目標を持ちながら、計画・見直しをすることができた。」の職員の解答は前期の80%から後期は89%と改善が見られ、温かい関係性を築きながら生徒に寄り添った教育活動になっていると考えます。

・小中連携で行う特別支援学級児童生徒の交流会では、木崎コミュニティセンターを会場にアート制作とゲームで楽しく交流することができました。

・南浜中学校と木崎中学校の交流会では、ボウリングで中学生同士仲良く交流しました。

・江南高等特別支援学校から講師をお呼びして、小中の保護者向けの高等部説明会を実施しました。説明会の後、保護者の方は個別に講師に質問することもできました。

課題 ・進路選択について生徒や保護者、職員がより具体的に考えることができるように、特別支援学校高等部の見学を実施したいと考えています。

来年度の方策 ・特別支援学校高等部の見学を計画し、特別支援学級の生徒と保護者にご案内します。
 ・引き続き外部講師を招いた研修を計画し、特別支援教育の理解を深めます。
 ・学校と家庭との連絡を密に取り、合意形成を図りながら、個別の教育支援計画、個別の教育指導計画を作成し、見直しながら丁寧に指導、支援を進めていきます。

